

2歳児クラス 11月 第3回 「きよだいな きよだいな」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

| | | | |
|-----|--|--------|---|
| 読み方 | <ul style="list-style-type: none"> 「あつたとさ あつたとさ」の繰り返しのコトバは、リズムをつけて子どもたちも一緒に声に出させ、楽しく読み進める。 「きよだいな」イメージが伝わるように、映像を出来るだけ大きく映してダイナミックに表現する。 | 教材 | |
| | ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート | | |
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> 講：絵本の表紙の絵を見せながら「これは何だと思う？」と問いかけ、興味を持たせてから読み始める。 | 保育士の役割 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちと一緒にお話を楽しむ |
| | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちと一緒に | | |

がくしゅうタイム

| | | | |
|------|--|---|---|
| 活動① | ことば | <ul style="list-style-type: none"> 提示されたものを「自分だったらどうしようか？」とイメージし、言葉で表現しようとする | 実物参照 |
| 設問 | <p>巨大な提示カードを見ながら「みんなだったらどうやって使う？」の問いに考えて、お話ししましょう。</p> | | 教材 |
| 活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> 講：「巨大なものがたくさん出てきたね。あの巨大な石鹸の上で先生もつるりつるり滑ってみたいなー」 保：「よいっしょ！よいしょ！」と「巨大な」提示カードを持って登場。 保：「これは何でしょう？」 講：カードを受け取り、子どもたちと「何か」考える。 ※この時カードを最初半分に折った状態で見て、考え、「こっちにまだ繋がってるよ」と広げて見せることで巨大さを強調しても良い。 「みんなだったら大きいタンバリンどう使う？」と問いかけ、ことばを引き出す。まず講師や保育士が見本になって表現してみると良い。 例)「大きな音で目覚まし時計にする」 同様にはしごも提示し、問いかける。 例)「空まではしごでのぼりたい！」「おうちの屋根にのぼってみたい！」など 子どものことばでの表現はまだまだ難しくまた個々の差も大きいです。先生の真似でも良いから自分なりの表現ができると良い。また子どもからの表現の糸口を講師、保育士がフォローし、引出し、繋げることが大切。 全体の中で言葉が出ない子に対しては個別に対応。保育士が「〇〇ちゃんは〇〇したいんだって」と代弁してあげても良い。 誰かの意見をいくつか取り上げて、みんなで実際に表現遊びに発展させ、楽しみ終了。 | | <p>提示用巨大な梯子カード</p> <p>提示用巨大なタンバリンカード</p> <p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 提示カード提示 子どもたちと一緒に考えて、楽しむ ことばの出ない子のフォロー |
| | 活動② | 描く | <ul style="list-style-type: none"> ダイナミックにクレヨンを動かし「強い風」をイメージし描くことができる。 |
| 設問 | <p>巨大な扇風機の風をぐるぐるとクレヨンで描きましょう。</p> | | 教材 |
| 活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> 保：「博士が巨大な扇風機の風を吹かせてみてくださいだって」とプリント提示。 講：「お話に出てきたねー あつたとさ あつたとさ ひろい のつばらどまんなかきよだいなせんぶうきあつたとさ…ってね。こんな扇風機あったらどうなる？」と問いかけ、クレヨン提示。「ひらひら…くるるるるー…こんな感じ？まだまだぐるぐるぐるー」などと見本提示。ダイナミックにクレヨンを動かしてうずまきを描いたり、波線を描いたりする。「皆も一緒にやりたいね」と誘いかけ、意欲を駆り立てる。 保：プリント、クレヨン配布。講師と一緒にダイナミックに描いていく。 子どもたちにもイメージを膨らませて力強く自由に描かせる。少々机にはみ出して | | <p>P1</p> <p>★クレヨン</p> <p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> プリント提示 プリント、クレヨン配布 クレヨンの持ち方を確認、必要に応じて指導 |
| | 活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちにもイメージを膨らませて力強く自由に描かせる。少々机にはみ出して | |

| | |
|---|---|
| <p>も「気にしない気にしない後でお掃除しよう」と今回はダイナミックに描かせてみる できればエレピで雰囲気高められると良い。 ・講：描いたプリントを皆で見せっこ。賞賛して終了。 ※机がクレヨンで汚れてしまったら、ティッシュを1枚ずつ配布して「ごしごし」ときれいにする。(生活力)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・エレピ演奏 ・賞賛 ・プリント、クレヨン回収 |
|---|---|

| | | | |
|-------------|--|---|--|
| 活動③ | 実験 | 巨大な「うちわ」に興味を持ち、力強く扇ぎ、風を起こしたり、風を体感するなど楽しむことができる。 | |
| 設問 | 巨大な「うちわ」を作って風を吹かせて、いろいろなものを飛ばしてみましよう。 | | なし |
| 設問 | <ul style="list-style-type: none"> ・講：「ひらひら…くるるるーってみんなで強い風吹かせてみたいね。でも巨大な扇風機ないからな何か良いものないかな？」 | | 教材 |
| 設問 | <ul style="list-style-type: none"> ・保：「良いものありますよー。ひらひら…びゅあーん」などうちわカードを手に登場。講師や子どもに向かって風を吹かせる。 ・講：「わーいいいなー！みんなもひらひら…びゅあーんって風吹かせてみたいね。」と誘いかる。 ・保：「みんなも分もありますよー」とカード提示。「今日は「3こ」のおはじきと交換です」 | | うちわ用テンカラー 一人一枚 紙テープ ※紙テープは適当な長さに切って意欲ロープに付けてセットしておく ・意欲ロープ ・おはじき ・皿 ★クレヨン |
| 活動内容 | 数にチャレンジ ・子：講師（保育士）がもつ二つの皿（それぞれ「3こ」と「2こ」入っている）を比べて「3こ」の皿を選び、うちわと交換する。 | | 保育士の役割 |
| 活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・おはじき「3こ」が選べない子には「こっちは1・2こ、こっちは1・2・3こ…と一緒に数え、3こはどっち？」と選択させる。 ・子：うちわカードにクレヨンで色や模様を自由に描き自分のうちわを作る。 ・講：「みんなで風吹かせてみようか？」できれば机から離れオーメーションを変えて、大きく風を吹かせてみる。 ※お友達同士吹かせあったり（この時うちわが人に当たらない様に気を付ける）、また教材として送った紙テープをぶら下げた意欲ロープを提示。風を吹かせてひらひら揺らすなどチャレンジさせて楽しむ。 ※その他お部屋にある折り紙やコピー用紙など折って立てて倒すなど、身近にあるものでチャレンジしてみのめ楽しい。 ・最後に「いっぱい遊んで汗かいたね…」と自分を扇いで涼んで終了する。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・うちわ提示 ・おはじき提示、「3こ」を選び、うちわと交換 ・環境整備 ・安全確認 ・意欲ロープ提示 ・うちわ回収 |

| | | | |
|-------------|--------------------------------------|-------------------------|---------------|
| 数子ヤレ | 数の比較 | 「2こ」と「3こ」入った皿を比べ「3こ」を選ぶ | 教材 |
| 設問 | おはじき「3こ」入った皿を選んでうちわを買いに行きましょう | | |
| 活動内容 | ※<活動③>の中で実施します。 | | 保育士の役割 |